

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月30日

上場会社名 日本製罐株式会社  
 コード番号 5905 URL <https://www.nihonseikan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 文隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田中 修二  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月29日 配当支払開始予定日 2026年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-665-1257

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,442	1.6	△307	—	△283	—	△346	—
2025年3月期	11,259	△8.1	△540	—	△476	—	△335	—

(注) 包括利益 2026年3月期 △139百万円 (—%) 2025年3月期 △980百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△257.12	—	△8.7	△2.2	△2.7
2025年3月期	△249.91	—	△7.2	△3.4	△4.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,975	4,856	29.9	2,864.55
2025年3月期	12,966	5,019	31.4	3,041.96

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,876百万円 2025年3月期 4,069百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	294	△356	△55	1,779
2025年3月期	896	640	△277	1,896

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	26	—	0.6
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	27	—	0.7
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	—	—	—

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,705	△1.5	△61	—	△84	—	△79	—	△58.58
通期	11,525	0.7	△104	—	△135	—	△69	—	△51.17

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	1,392,000 株	2025年3月期	1,392,000 株
2026年3月期	38,645 株	2025年3月期	54,345 株
2026年3月期	1,348,524 株	2025年3月期	1,341,778 株

(参考)個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,707	1.8	△355	—	△381	—
2025年3月期	5,606	△22.3	△528	—	△317	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△282.70	—
2025年3月期	△236.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	9,402	4,177	44.2	3,072.65
2025年3月期	9,498	4,412	46.2	3,279.92

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,158百万円 2025年3月期 4,387百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,796	△4.5	△100	—	△76	—	△56.36
通期	5,697	△0.2	△189	—	△77	—	△57.10

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報の注記) .....	15
(重要な後発事象の注記) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、日中関係の緊張化や米国による通商政策の影響、中東情勢の緊張化、円安の進行、人件費の上昇に起因する物価上昇やエネルギー価格の高騰が、わが国の景気を下押しする要因となり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力品種である18L缶は、油糧・食糧分野で落ち込みがみられましたが、当連結累計期間の売上高は前年並みとなっております。また、美術缶につきましては新規生産設備の稼働もあり、当連結累計期間の売上高は前年対比で8.1%増加しております。

このような中、当社グループの当連結会計年度の売上高は、11,442百万円（前年比1.6%増）、営業損失は307百万円（前年は営業損失540百万円）、経常損失は283百万円（前年は経常損失476百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は346百万円（前年は親会社株主に帰属する当期純損失335百万円）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

## ①金属缶製造販売事業

製品別売上高

（単位：百万円、%）

	前期		当期	
	金額	構成比	金額	構成比
18L缶	8,765	79.0	8,776	77.8
美術缶	1,900	17.1	2,054	18.2
その他	430	3.9	447	4.0
計	11,095	100.0	11,278	100.0

金属缶製造販売事業の売上高は11,278百万円（前年比1.6%増）、営業損失は391百万円（前年は営業損失624百万円）となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は163百万円（前年比0.1%増）、営業利益は83百万円（前年比0.1%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が116百万円、受取手形及び売掛金が274百万円、原材料及び貯蔵品が58百万円減少し、電子記録債権が210百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が41百万円、投資その他の資産が263百万円増加し、無形固定資産が50百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は12,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は5,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ0.4百万円減少いたしました。固定負債は3,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が538百万円減少し、リース債務が547百万円、繰延税金負債が147百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、4,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が380百万円減少し、その他有価証券評価差額金が165百万円、非支配株主持分が35百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.9%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ116百万円減少し、当連結会計年度末には1,779百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は294百万円（前年比67.1%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失△234百万円、減価償却費380百万円、投資有価証券売却益△142百万円、棚卸資産の減少80百万円、仕入債務の増加102百万円、その他42百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は356百万円（前年は得られた資金640百万円）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出△498百万円、投資有価証券の売却による収入149百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は55百万円（前年は使用した資金277百万円）となりました。これは主に長短有利子負債の減少△684百万円、セール・アンド・リースバックによる収入662百万円、配当金の支払△26百万円、非支配株主への配当金の支払△6百万円等によるものであります。

### （4）今後の見通し

2025年度の日本経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの動きなどを背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高止まりに加え、人件費の上昇や金利動向の影響などにより、企業を取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況が続いております。

また、世界経済においては、米国の高金利政策の継続による景気減速懸念、欧州におけるインフレの高止まりや地政学リスク、中国における不動産市場の低迷などを背景に、全体として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社が属する18リットル缶業界におきましては、需要構造の変化に加え、原材料・エネルギー価格および人件費の上昇への対応が求められており、生産体制の効率化や収益構造の見直しが重要な経営課題となっております。

当社はこうした事業環境の変化を踏まえ、将来に向けた収益基盤の再構築を目的として、2025年度より抜本的な経営改革を推進しております。具体的には、生産ラインの集約に伴う千葉工場の閉鎖、人員体制の適正化、設備の減損処理等を実施し、固定費構造の改善および事業効率の向上に取り組んでおります。また、収益力強化に向けた高付加価値製品の開発・実用化にも注力しております。

しかしながら、これらの施策につきましては、効果発現までに一定の時間を要しており、当初計画に対して以下の要因により進捗が遅れております。

- ・コスト削減効果の顕在化が想定を下回っていること
- ・美術缶新設備の稼働安定化に時間を要していること
- ・新製品に係る顧客承認の取得に想定以上の期間を要していること

この結果、販売数量および収益ともに当初計画を下回る見通しとなり、改革途上にある2027年3月期においても、黒字化には至らない見込みであります。

一方で、生産体制の再構築は着実に進展しており、千葉工場の閉鎖を含む生産集約の効果として、生産効率の向上および固定費削減は段階的に顕在化する見通しであります。また、美術缶新設備についても稼働の安定化に向けた改善が進んでおり、新製品についても順次顧客承認を取得し、本格的な量産・販売へ移行していく計画であります。

以下の4つを、2026年度の重要施策として臨んで参ります。

- ① 生産効率の向上およびコスト競争力の強化
- ② 採算を意識したProduct-Mixの改善
- ③ 高付加価値製品製造ラインの稼働率アップ
- ④ 新規取引の開拓

以上を踏まえ、翌連結会計年度（2027年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高11,525百万円、営業損失104百万円、経常損失135百万円、親会社株主に帰属する当期純損失69百万円を見込んでおります。なお、保有株式の一部売却による特別利益の計上を見込んでおりますが、本業においては引き続き厳しい状況が続く見通しであります。

また、日本製罐の単体決算におきましては、当社が推進している生産体制の再構築および経営改革は、中長期的な収益力の回復を目的とするものであり、その効果は2027年3月期を通じて段階的に顕在化し、2028年3月期以降の収益改善に大きく寄与するものと見込んでおります。

具体的には、2027年3月期において、美術缶新設備の安定稼働の実現、高付加価値製品の顧客承認取得および量産化、現在進行中の各種改善プロジェクトの定着を図ることによる生産コストの低減および採算を意識したProduct-Mixを実現し収益力の向上を進めてまいります。

当社といたしましては、引き続き生産体制の最適化とコスト構造の改革を推進するとともに、新たな収益基盤の確立に取り組み、2028年3月期における黒字化の達成を目指し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。個別の業績見通しにつきましては以下の通りです。

(単位：百万円)

	2025年度実績	2026年度予算	差異	2027年度目標	差異
売上高	5,707	5,697	△10	5,914	217
営業利益	△383	△176	207	4	180
経常利益	△355	△189	166	25	214
当期純利益	△381	△77	304	123	200

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済動向や事業環境の変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,901,368	1,784,682
受取手形及び売掛金	1,881,382	1,606,595
電子記録債権	1,743,479	1,953,530
商品及び製品	138,700	150,869
仕掛品	194,530	160,033
原材料及び貯蔵品	1,084,808	1,026,494
その他	143,161	159,901
貸倒引当金	△3,162	△2,910
流動資産合計	7,084,268	6,839,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,599,256	7,712,687
減価償却累計額	△5,760,549	△5,905,964
減損損失累計額	△377	△377
建物及び構築物 (純額)	1,838,329	1,806,346
機械及び装置	8,441,850	8,312,347
減価償却累計額	△7,484,033	△7,123,762
減損損失累計額	△551,751	△560,730
機械及び装置 (純額)	406,066	627,854
車両運搬具	29,353	21,128
減価償却累計額	△26,476	△17,781
減損損失累計額	△1,916	△1,916
車両運搬具 (純額)	960	1,430
工具、器具及び備品	682,566	698,223
減価償却累計額	△629,974	△636,570
減損損失累計額	△25,207	△25,663
工具、器具及び備品 (純額)	27,384	35,988
土地	972,170	972,170
リース資産	17,446	622,632
減価償却累計額	△17,155	△8,431
リース資産 (純額)	290	614,201
建設仮勘定	785,980	14,482
有形固定資産合計	4,031,182	4,072,473
無形固定資産		
ソフトウェア	157,284	108,056
ソフトウェア仮勘定	1,630	—
リース資産	69	121
その他	2,036	2,022
無形固定資産合計	161,020	110,201
投資その他の資産		
投資有価証券	1,663,686	1,909,545
繰延税金資産	—	26,790
その他	26,505	17,665
投資その他の資産合計	1,690,192	1,954,002
固定資産合計	5,882,394	6,136,676
資産合計	12,966,663	12,975,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,498,923	2,254,384
電子記録債務	967,508	1,314,652
短期借入金	200,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	938,993	896,634
リース債務	396	125,330
未払法人税等	50,609	15,310
未払事業所税	20,996	20,906
賞与引当金	59,557	82,028
設備関係電子記録債務	—	7,010
その他	364,786	265,999
流動負債合計	5,101,771	5,102,258
固定負債		
長期借入金	1,972,773	1,434,334
リース債務	—	547,239
繰延税金負債	483,783	631,031
退職給付に係る負債	326,608	300,194
資産除去債務	18,170	18,170
その他	43,564	86,208
固定負債合計	2,844,901	3,017,179
負債合計	7,946,673	8,119,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	738,599	738,599
資本剰余金	245,373	245,373
利益剰余金	2,243,942	1,863,662
自己株式	△79,272	△56,381
株主資本合計	3,148,642	2,791,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	920,445	1,085,494
その他の包括利益累計額合計	920,445	1,085,494
新株予約権	25,087	18,812
非支配株主持分	925,814	960,876
純資産合計	5,019,990	4,856,436
負債純資産合計	12,966,663	12,975,874

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,259,429	11,442,246
売上原価	10,407,955	10,349,103
売上総利益	851,473	1,093,142
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	321,264	318,487
役員報酬	79,398	90,422
株式報酬費用	10,624	9,808
賞与引当金繰入額	15,155	23,457
退職給付費用	30,597	26,983
運賃及び荷造費	550,695	558,075
支払手数料	99,122	113,093
減価償却費	99,250	71,602
その他	186,100	189,074
販売費及び一般管理費合計	1,392,207	1,401,006
営業損失 (△)	△540,734	△307,863
営業外収益		
受取利息	259	703
受取配当金	66,882	37,382
業務受託手数料	10,376	10,376
その他	14,351	11,882
営業外収益合計	91,870	60,345
営業外費用		
支払利息	23,772	32,945
支払手数料	3,574	1,085
その他	112	1,658
営業外費用合計	27,458	35,689
経常損失 (△)	△476,322	△283,207
特別利益		
固定資産売却益	19	1,754
投資有価証券売却益	920,065	142,334
新株予約権戻入益	4,406	—
特別利益合計	924,492	144,089
特別損失		
固定資産除却損	1	18,957
減損損失	607,482	15,652
早期割増退職金	86,200	—
工場閉鎖損失	—	60,435
その他	5,400	—
特別損失合計	699,083	95,045
税金等調整前当期純損失 (△)	△250,913	△234,164
法人税、住民税及び事業税	107,456	30,557
法人税等調整額	△44,546	42,111
法人税等合計	62,909	72,669
当期純損失 (△)	△313,823	△306,833
非支配株主に帰属する当期純利益	21,501	39,902
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△335,325	△346,736

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失 (△)	△313,823	△306,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△666,865	167,142
その他の包括利益合計	△666,865	167,142
包括利益	△980,689	△139,690
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,000,872	△181,687
非支配株主に係る包括利益	20,182	41,996

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	738,599	245,373	2,676,752	△47,994	3,612,730
当期変動額					
剰余金の配当			△94,839		△94,839
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△335,325		△335,325
自己株式の取得				△45,218	△45,218
自己株式の処分		△2,645		13,940	11,295
自己株式処分差損の振替		2,645	△2,645		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△432,810	△31,278	△464,088
当期末残高	738,599	245,373	2,243,942	△79,272	3,148,642

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,585,992	1,585,992	30,155	925,049	6,153,927
当期変動額					
剰余金の配当					△94,839
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△335,325
自己株式の取得					△45,218
自己株式の処分					11,295
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△665,546	△665,546	△5,067	765	△669,848
当期変動額合計	△665,546	△665,546	△5,067	765	△1,133,937
当期末残高	920,445	920,445	25,087	925,814	5,019,990

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	738,599	245,373	2,243,942	△79,272	3,148,642
当期変動額					
剰余金の配当			△26,753		△26,753
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△346,736		△346,736
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△6,790		22,890	16,100
自己株式処分差損の振替		6,790	△6,790		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	△380,279	22,890	△357,388
当期末残高	738,599	245,373	1,863,662	△56,381	2,791,253

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	920,445	920,445	25,087	925,814	5,019,990
当期変動額					
剰余金の配当					△26,753
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△346,736
自己株式の取得					—
自己株式の処分					16,100
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	165,048	165,048	△6,275	35,062	193,834
当期変動額合計	165,048	165,048	△6,275	35,062	△163,553
当期末残高	1,085,494	1,085,494	18,812	960,876	4,856,436

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△250,913	△234,164
減価償却費	408,562	380,179
減損損失	607,482	15,652
早期割増退職金	86,200	—
工場閉鎖損失	—	60,435
株式報酬費用	10,624	9,808
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,158	△252
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,317	22,471
損害賠償引当金の増減額 (△は減少)	△2,331	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59,583	△26,414
受取利息及び受取配当金	△67,142	△38,085
支払利息	23,772	32,945
有形固定資産売却損益 (△は益)	△19	△1,754
固定資産除却損	1	18,957
投資有価証券売却損益 (△は益)	△920,065	△142,334
新株予約権戻入益	△4,406	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,799,851	64,735
棚卸資産の増減額 (△は増加)	118,247	80,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△692,072	102,605
その他	△152,656	42,843
小計	970,240	388,270
利息及び配当金の受取額	67,142	38,085
利息の支払額	△23,953	△32,895
法人税等の還付額	257	—
法人税等の支払額	△117,516	△98,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	896,171	294,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△378,285	△480,562
有形固定資産の売却による収入	22	280
無形固定資産の取得による支出	△13,460	△17,800
投資有価証券の取得による支出	△7,029	△7,455
投資有価証券の売却による収入	1,038,899	149,420
その他	△2	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	640,144	△356,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△380,000
長期借入れによる収入	1,100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,012,927	△980,797
リース債務の返済による支出	△4,754	△23,215
セール・アンド・リースバックによる収入	—	662,365
配当金の支払額	△94,839	△26,753
非支配株主への配当金の支払額	△19,417	△6,934
自己株式の売却による収入	10	15
自己株式の取得による支出	△45,218	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,147	△55,321
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,259,167	△116,685
現金及び現金同等物の期首残高	637,200	1,896,368
現金及び現金同等物の期末残高	1,896,368	1,779,682

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内において18L缶、美術缶等を製造販売する金属缶製造販売事業、建物及び土地を賃貸する不動産賃貸事業の二つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
18L缶	8,765,017	—	8,765,017	—	8,765,017
美術缶	1,900,069	—	1,900,069	—	1,900,069
その他	430,606	—	430,606	—	430,606
顧客との契約から生じる収益	11,095,694	—	11,095,694	—	11,095,694
その他の収益	—	163,735	163,735	—	163,735
外部顧客への売上高	11,095,694	163,735	11,259,429	—	11,259,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,095,694	163,735	11,259,429	—	11,259,429
セグメント利益又は損失(△)	△624,312	83,578	△540,734	—	△540,734
セグメント資産	8,892,813	504,506	9,397,320	3,569,343	12,966,663
その他の項目					
減価償却費	369,969	38,593	408,562	—	408,562
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	437,063	115	437,179	—	437,179

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券が含まれる全社資産であります。

3. 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
18L缶	8,776,711	—	8,776,711	—	8,776,711
美術缶	2,054,580	—	2,054,580	—	2,054,580
その他	447,037	—	447,037	—	447,037
顧客との契約から生じる収益	11,278,329	—	11,278,329	—	11,278,329
その他の収益	—	163,917	163,917	—	163,917
外部顧客への売上高	11,278,329	163,917	11,442,246	—	11,442,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,278,329	163,917	11,442,246	—	11,442,246
セグメント利益又は損失（△）	△391,504	83,641	△307,863	—	△307,863
セグメント資産	8,715,360	561,675	9,277,035	3,698,839	12,975,874
その他の項目					
減価償却費	340,347	39,831	380,179	—	380,179
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	341,701	97,000	438,701	—	438,701

- （注） 1. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。  
2. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券が含まれる全社資産であります。  
3. 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
西部容器株式会社	1,833,751	金属缶製造販売事業
株式会社明治	664,827	金属缶製造販売事業

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
西部容器株式会社	1,930,169	金属缶製造販売事業
株式会社明治	835,212	金属缶製造販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	607,482	—	607,482	—	607,482

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	15,652	—	15,652	—	15,652

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,041.96円	2,864.55円
1株当たり当期純損失(△)	△249.91円	△257.12円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△335,325	△346,736
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△335,325	△346,736
期中平均株式数(株)	1,341,778	1,348,524
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,019,990	4,856,436
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	950,902	979,688
(うち新株予約権(千円))	(25,087)	(18,812)
(うち非支配株主持分(千円))	(925,814)	(960,876)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,069,088	3,876,747
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,337,655	1,353,355

## (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。